

腹腔鏡下良性子宮・付属器腫瘍摘出術【1日前】患者さんパスシート (No.1)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院1日目（手術前日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術、入院生活について理解しましょう。 手術に必要な物品を準備しましょう。 麻酔について理解しましょう。 転倒転落の危険性、予防方法について理解しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 検温を行います。
薬	<ul style="list-style-type: none"> お薬を内服されている方は入院時に6日分持参してください。（医師・薬剤師が確認し、内服継続するかどうか確認します） 15時に下剤（マグコロールP）を内服します。 夕食後に浣腸をします。 眠れない時は、睡眠薬の使用ができますのでお知らせください。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 処置室で診察を行います。（入院日に行っていない場合） 麻酔科受診があります。麻酔科の問診票を記入し、受診時にお持ちください。 オリーブ油でお臍の掃除と、手術部位の不要な毛の処理を行います。 マニキュア、ペディキュアはとり、爪は切ってください。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません
食事	<ul style="list-style-type: none"> 夕食は残渣が残りにくい食事になります。 午前手術の場合：21時以降は食事、水分をとることが出来ません。 午後手術の場合：21時以降食事は出来ませんが、水分のみ6時まで飲むことができます。（水とお茶のみとなります。）
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 処置後、シャワーに入ってください。 爪は短く切り、ネイルをされている方は必ず外しておいてください。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活についてのオリエンテーションを行います。 主治医から手術についての説明があります。 手術に必要なものを準備していただきます。 ①浴衣 ②バスタオル ③T字帯 ④腹帯1枚 ⑤大きめのナプキン1個 ⑥弾性ストッキング *①～⑤はご自身で準備をお願いいたします。 ⑥は入院後看護師がサイズを図り、お渡しします。 この用紙を使用して手術についての説明をします。 転倒防止についての説明をいたします。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腹腔鏡下良性子宮・付属器腫瘍摘出術【1日前】患者さんパスシート (No.2)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院2日目：手術当日(手術前)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術を受ける準備をしましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 入室前に検温を行います。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 当日朝の内服は医師の指示に従ってください。 手術が午後になる場合、脱水を予防するため術前に点滴をする場合があります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 起床時に浣腸を行います。 弾性ストッキングを履き、浴衣に着替えてお待ちください。 手術前に検温をします。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 手術直前にお手洗いを済ませてください。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 起床後は食事、水分全て禁止となります。 (手術が午後の場合、当日朝6時まで水は飲むことができます。)
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 手術前に歯磨き・洗面を行きましょう。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術室に向かう時、浴衣、弾性ストッキングを着用してください。 時計、入れ歯、指輪、眼鏡など体から外せるものは全て外してください。 貴重品は金庫に入れるか、ご家族にお渡しください。 ご家族の方は連絡が取れる状態でお待ちください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腹腔鏡下良性子宮・付属器腫瘍摘出術【1日前】患者さんパスシート (No.3)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院2日目：手術当日(手術後)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みや吐き気など苦痛がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 ・手術当日はベッドの上で安静にしましょう。 ・異常な出血がないか確認をします。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・吐き気・お腹の痛み・出血がないか確認します。 ・体温、血圧、脈拍を測ります。
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日は内服薬全てが中止となります。 ・手術後、水分補給の点滴と抗生物質の点滴を行います。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後は酸素マスクをつけます。 ・両足に血栓予防の機械を装着します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・排便時はベッドの上で便器を使用します。 ・尿の管が入ってきます。違和感が強いときは看護師にお伝え下さい。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後はベッドで戻ります。 ・手術当日はベッド上安静となります。 ・寝返りは看護師がお手伝いしますのでお知らせください。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日は食事・水分を摂ることができません。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師介助のもと、洗面を行います。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みや吐き気がある場合はお薬が使用できますので、我慢せず看護師にお知らせください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腹腔鏡下良性子宮・付属器腫瘍摘出術【1日前】患者さんパスシート (No.4)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院3日目（手術後1日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みや苦痛・体調に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 可能であれば、腸の動きを良くするために起き上がり、トイレまで歩行しましょう。 転倒・転落予防について理解しましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 検温を行います。 吐き気・お腹の痛み・出血がないか確認します。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 食事が安定するまで（午後まで）点滴を行います。 6時、18時に抗生剤の点滴を行います。終了後に針を抜きます。 これまで内服していた薬に関しては医師の指示に従ってください。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 起床後に採血を行います。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 弾性ストッキングは退院まで着用となります。 足の機械は歩けるようになったら外します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 看護師と共にトイレまで歩き、歩行が可能であれば尿の管を抜きます。 尿は全てカップで計測してください。（術後3日目まで）
活動	<ul style="list-style-type: none"> 初回の歩行は看護師と一緒にいきます。 めまいやふらつきがなければ一人で病棟内を歩行できます。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 朝から水分を飲むことができます。 昼から五分粥、夕から全粥となります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 蒸しタオルで体拭きを行います。 点滴などの管がありますので看護師がお手伝いいたします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気やお腹の痛みがある時は看護師をお呼びください。 動くときは、点滴の管、尿の管が入っていますので、管が引っ張られないよう気を付けましょう。 手術後は、体力の低下がみられたり痛みがあるため転倒しやすい状況となっています。しかし、お腹の動きを良くしたり早期に回復するために歩行することは大切なことです。無理せず、自分のペースで歩く範囲を広げていきましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腹腔鏡下良性子宮・付属器腫瘍摘出術【1日前】患者さんパスシート (No.5)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院後4日目（術後2日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みや苦痛・お体の具合に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 ・起き上がり、トイレまで歩行しましょう。 ・転倒・転落予防について理解しましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・傷口からの出血・膣からの出血を確認します。 ・痛みや吐き気の有無、お腹の動きを確認します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。尿をカップで測定してください。（昨日歩行できなかった方は、トイレ歩行ができれば尿の管を抜きます。）
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありませんが、手術後は歩行が不安定になりやすいのでその場合は看護師と一緒に歩行します。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・朝から常食となります。とくに制限はありません。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴をすることができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・吐き気やお腹の痛みがある時は看護師をお呼びください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腹腔鏡下良性子宮・付属器腫瘍摘出術【1日前】患者さんパスシート (No.6)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院後5日目（術後3日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みや苦痛・出血・お体の具合に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 起き上がり、トイレまで歩行しましょう。 退院後の生活上の注意事項について理解しましょう。 転倒・転落予防について理解しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 起床時に採血をします。 尿の検査があります。（トイレを済ませた後、膀胱に尿が残っているか尿の管を入れて確認をします） 処置室にて医師が退院前の診察をします。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 傷口からの出血・膣からの出血を確認します。 痛みや吐き気の有無、お腹の動きを確認します。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 傷の痛みがある時は鎮痛剤を使用しますので、看護師にお伝えください。 排便がない場合、薬を使用することがあるため、看護師にお伝えください。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。尿をカップで測定してください。 術後排便がない方は看護師にお知らせください。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none"> とくに制限はありません。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴をすることができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気やお腹の痛みがある時は薬を使用できますので、看護師をお呼びください。 転ばないように注意して歩きましょう。 別紙「退院後の生活について」を使って退院指導を行います。 別紙を用いて術式に合わせた出現する可能性のある症状の説明をします。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腹腔鏡下良性子宮・付属器腫瘍摘出術【1日前】患者さんパスシート(No.7)

氏名		診療科名	女性診療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院後6日目（術後4日目）/退院日
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みや苦痛・出血・お体の具合に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 起き上がり、トイレまで歩行しましょう。 退院後の生活上の注意事項について理解しましょう。 転倒・転落予防について理解しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 前日に診察をしていない場合、処置室にて医師が退院前の診察をします
観察	<ul style="list-style-type: none"> 傷口からの出血・膣からの出血を確認します。 痛みや吐き気の有無、お腹の動きを確認します。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 傷の痛みがある時は鎮痛剤を使用しますので、看護師にお伝えください。 排便がない場合、薬を使用することがあるため、看護師にお伝えください。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 術後排便がない方は看護師にお知らせください。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none"> とくに制限はありません。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴をすることができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気やお腹の痛みがある時は薬を使用できますので、看護師をお呼びください。 転ばないように注意して歩きましょう。 退院後の外来診察日について説明をします。 保険などの書類は退院日に本館1階中央受付Aに提出して下さい。 <p>（ただし、退院日が日曜日・祝日の場合は前日に提出して下さい。）</p>

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

退院後の生活について

- ①退院後は家庭内での生活は普段通りに送ることができますが、次回の外来までは自転車、運動などでかんだり、腹圧のかかる動作は控えましょう。
- ②食事は特に制限はありませんが、暴飲暴食は避け、規則正しくバランスのとれた食事を心がけましょう。
- ③傷に貼っているテープは、次第に剥がれてくるので無理に剥がさないようにしましょう。シャワー浴の時は傷を強くこすらずに、泡を立ててやさしくなでるように洗いましょう。
※退院後は次回外来までは、感染予防のためシャワー浴のみになります。
外来時の状態を診て、医師より湯船に入っていいかの許可がでます。
- ④手術後は腸の動きが鈍くなり便秘になりやすいため、適度な運動を行い繊維質の物を多く取るようにしましょう。
- ⑤性生活は次回外来までは禁止です。受診時に医師に確認しましょう。
- ⑥内服薬は入院中と同じように内服してください。退院後に始まる薬がある場合は退院時にお伝えします。

* 緊急時の対応 *

- 38 度以上の熱が出る
- 強い腹痛がある
- お腹が張って吐き気が強い
- 通常の生理以上の出血がつづく

上記のような症状がある時は早めに受診してください。
不明な点等がありましたら、医師・看護師にご相談ください。

連絡先

日本医科大学付属病院（代表）
女性診療科外来（内線）

03-3822-2131
3311、3312

* 卵巣を取った場合 *

○ 卵巣欠落症状について

卵巣は女性ホルモンを分泌する働きがあります。一般的に更年期といわれる 45～50 歳くらいまで女性ホルモンを分泌します。個人差はありますが、生理のある卵巣を摘出するとホルモンバランスが崩れて以下のような症状が生じることがあります。

○ 卵巣欠落症状の主な症状

頭痛、肩こり、めまい、腹痛、しびれ感、耳鳴り、不眠、不安感
イライラ感、のぼせ、冷え性、発汗、食欲不振、便秘

いずれも長く続くものではありません。
症状が強く、つらい時は医師に相談しましょう。

※ 片側の卵巣をとった場合は反対側の卵巣が機能を補うので問題ありません。
個人差はありますが、次回の生理がなくなることはありません。

* 卵巣の嚢腫のみ取った場合 *

女性ホルモンの分泌は問題ありません。
手術の影響で次回の生理が遅れる場合があります。
次回の妊娠については術式により個人差がありますので、担当の医師にご相談ください。